資料１

豊田PCB廃棄物処理事業の状況報告について

１　豊田PCB廃棄物処理事業の処理実績

（1）豊田PCB廃棄物処理施設での処理実績

（表－１）PCB廃棄物の処理量（中間処理完了ベース）　　　（令和6年2月末現在）

	（注1）変圧器類（台）				（注2）コンデンサー類（台）				（注3）廃PCB（本）	保管容器（箱）	純PCB処理量（トン）
	大型	小型	車載	合計	健常品	処理手間物	小型機器（10kg未満）	合計			
H17年度合計（試運転物含む）	8	33	8	49	1,185	0	0	1,185	33	0	31.8
H18年度合計	19	55	3	77	1,592	13	0	1,605	1	0	63.7
H19年度合計	26	146	19	191	2,227	62	0	2,289	15	0	115.9
H20年度合計	36	242	26	304	3,743	93	0	3,836	30	0	186.4
H21年度合計	40	221	25	286	4,616	137	0	4,753	47	2	199.4
H22年度合計	33	135	19	187	3,528	242	0	3,770	56	10	163.1
H23年度合計	33	85	24	142	3,658	252	0	3,910	28	10	144.4
H24年度合計	40	147	33	220	4,923	203	0	5,126	64	17	217.9
H25年度合計	52	100	49	201	5,778	127	66	5,971	123	23	207.5
H26年度合計	41	50	57	148	4,798	1,031	44	5,873	22	197	213.2
H27年度合計	26	17	61	104	4,405	1,292	487	6,184	27	381	190.6
H28年度合計	27	17	58	102	4,392	825	2,103	7,320	93	396	165.5
H29年度合計	14	17	65	96	3,846	1,096	3,462	8,404	99	450	171.2
H30年度合計	15	29	64	108	2,271	601	4,073	6,945	323	432	112.7
R元年度合計	49	40	61	150	1,344	395	4,084	5,823	300	603	96.2
R2年度合計	2	29	57	88	1,141	94	1,486	2,721	371	363	83.5
R3年度合計	4	14	13	31	1,061	166	865	2,092	426	267	46.4
R4年度合計	0	8	0	8	588	66	335	989	200	68	21.4
R5年4月	0	0	0	0	72	20	60	152	23	17	1.7
R5年5月	0	0	0	0	89	7	15	111	0	0	1.6
R5年6月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
R5年7月	0	0	0	0	11	3	5	19	26	2	0.5
R5年8月	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0.0
R5年9月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
R5年10月	0	1	0	1	16	0	6	22	3	3	0.6
R5年11月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
R5年12月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
R6年1月	0	0	0	0	15	1	5	21	3	3	0.3
R6年2月	0	0	0	0	14	1	0	15	0	0	0.3
R6年3月											
R5年度合計	0	1	0	1	217	32	91	340	56	25	5.0
合計	465	（※2）1,386	（注4）642	2,493	（※1）55,313	（※1、2）6,727	（※2）17,096	（注4）79,136	2,314	（注4）3,244	2,435.9

（注1）：変圧器類とは、変圧器、変流器、リアクトル等を含む。大型変圧器とは重量が1.62tを超えるもの又は、小型トランス解体ラインでは処理できないもの。

（注2）：健常品コンデンサーは連結コンデンサー、サージアブソーバーを含む。処理手間物は、寸法外・海外製・漏洩品のコンデンサー

（※1）大阪事業エリアのPPコンデンサー4,987台（健常品4,557台、処理手間物430台）を含む。

（※2）北九州事業エリアの変圧器4台、コンデンサー486台、PCB油84本(8.81kg)、保管容器41箱を含む。

（注3）：廃PCBとはドラム缶、ペール缶や試薬ビンに入った廃PCB油

（注4）：他事業所に搬出し処理した車載変圧器158台、炭化コンデンサー125台とその保管容器79箱は除く。

（2）PCB廃棄物の受入状況

豊田PCB処理事業所の操業開始後、令和6年2月末までのPCB廃棄物の受入実績（試運転含む。）は、変圧器類2，493台(継続保管4台)、コンデンサー類79，136台（継続保管486台、PPｺﾝﾃﾞﾝｻｰ4,987台含む。）、廃PCB油が2，314本（継続保管84本含む）、保管容器3，244箱(継続保管41箱含む)です。

（表－2） PCB廃棄物の受入状況（搬入ベース）

（令和6年2月末現在）

	変圧器類（台）			コンデンサー類（台）	廃PCB		保管容器（箱）
	大型	小型	車載		（本）	（kg）	
試運転時 H17年6～8月	1台	5台	8台	588台	33本	7,330kg	ー
操業時 H17年9月～							
H17年度合計	11台	42台	ー	1,156台	ー	ー	ー
H18年度合計	16台	52台	3台	1,192台	1本	300.0kg	ー
H19年度合計	27台	147台	21台	2,449台	30本	8,407.5kg	ー
H20年度合計	36台	235台	24台	3,834台	15本	2,703.6kg	ー
H21年度合計	41台	227台	26台	5,012台	47本	13,321.1kg	2箱
H22年度合計	34台	128台	22台	3,875台	56本	13,328.0kg	10箱
H23年度合計	31台	87台	21台	3,603台	28本	8,099.0kg	10箱
H24年度合計	46台	156台	34台	5,467台	68本	19,337.7kg	17箱
H25年度合計	53台	88台	50台	5,862台	133本	35,107.5kg	23箱
H26年度合計	43台	53台	60台	5,953台	16本	1,288.5kg	210箱
H27年度合計	27台	19台	60台	6,514台	27本	313.0kg	368箱
H28年度合計	22台	11台	60台	7,688台	87本	402.2kg	401箱
H29年度合計	13台	18台	62台	8,342台	166本	2,717.1kg	456箱
H30年度合計	15台	35台	64台	6,468台	287本	15,610.2kg	439箱
R元年度合計	46台	34台	64台	5,365台	288本	37,317.4kg	588箱
R2年度合計	1台	26台	56台	2,703台	363本	35,138.1kg	361箱
R3年度合計	2台	15台	7台	1,988台	442本	9,046.3kg	269箱
R4年度合計	0台	7台	0台	1,000台	194本	291.3kg	82箱
R5年4月	0台	0台	0台	0台	0本	0.0kg	0箱
R5年5月	0台	0台	0台	2台	8本	0.3kg	0箱
R5年6月	0台	0台	0台	11台	18本	1.5kg	0箱
R5年7月	0台	0台	0台	6台	1本	0.1kg	2箱
R5年8月	0台	0台	0台	0台	0本	0.0kg	0箱
R5年9月	0台	1台	0台	22台	3本	28.7kg	3箱
R5年10月	0台	0台	0台	0台	0本	0.0kg	0箱
R5年11月	0台	0台	0台	0台	0本	0.0kg	0箱
R5年12月	0台	0台	0台	21台	3本	34.1kg	2箱
R6年1月	0台	0台	0台	15台	本	0.0kg	1箱
R5年度合計	**0台**	**1台**	**0台**	77台	33本	**64.6kg**	**8箱**
操業期間合計	**464台**	**1,381台**	**634台**	**78,548台**	**2,281本**	**202,793.2kg**	**3,244箱**
試運転含む全受入量	**465台**	**1,386台**	**642台**	**79,136台**	**2,314本**	**210,123.2kg**	**3,244箱**

（3）PCB処理事業区域（東海4県8市）の受入進捗状況

（表－3）届出区域別　登録台数（試運転物、エリア間移動{P.Pコンデンサー・継続保管}を含みます。）

（令和6年2月末現在）

区域名称	保管者数	事業場数	変圧器台数	ｺﾝﾃﾞﾝｻｰ台数	廃PCB		保管容器
豊田市	300	313	10台	6,606台	63本	267.9kg	389箱
愛知県	2,682	2,823	343台	13,998台	394本	29,129.1kg	533箱
名古屋市	1,742	1,840	450台	9,230台	556本	31,346.6kg	462箱
豊橋市	299	326	2台	1,199台	59本	356.3kg	53箱
岡崎市	208	232	28台	982台	15本	330.2kg	82箱
一宮市	172	192	0台	548台	5本	9.3kg	13箱
岐阜県	1,488	1,565	117台	5,198台	85本	145.5kg	233箱
岐阜市	342	373	47台	993台	64本	54.9kg	35箱
静岡県	1,992	2,083	104台	9,313台	268本	19,547.3kg	693箱
静岡市	581	630	48台	2,387台	91本	9,376.8kg	69箱
浜松市	557	592	956台	9,852台	119本	20,679.2kg	166箱
三重県	1,223	1,329	384台	13,357台	511本	98,617.4kg	475箱
合計：	11,586	12,298	2,489台	73,663台	2,230本	209,860.4kg	3,203箱
エリア間移動	276	300	4台	5,473台	84本	8.8kg	41箱
総計：	11,862	12,598	2,493台	79,136台	2,314本	209,869.2kg	3,244箱

（表－４）届出区域別　受入台数（試運転物、エリア間移動{P.Pコンデンサー・継続保管}を含みます。）

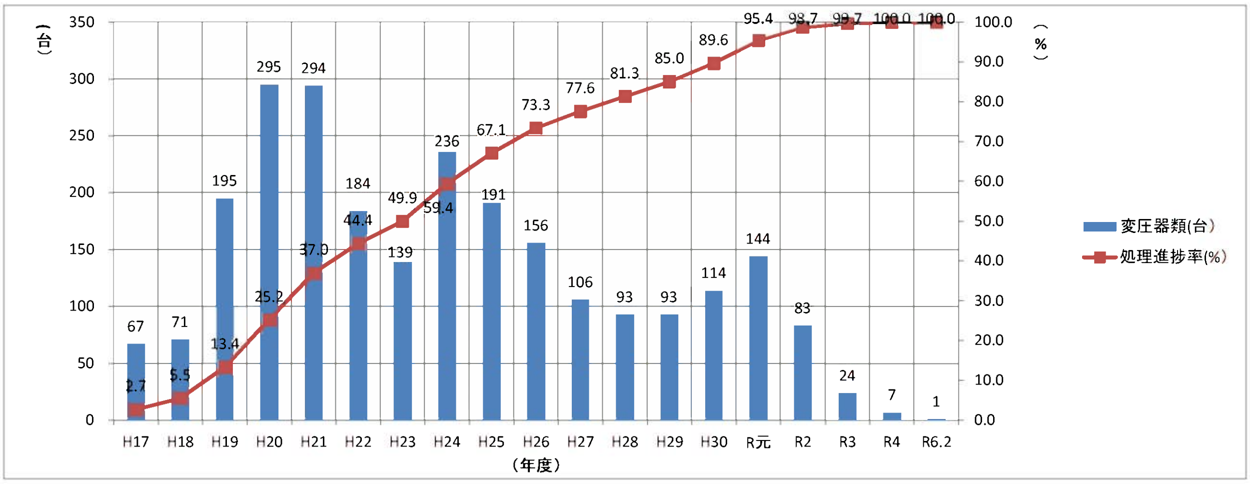
（令和6年2月末現在）

区域名称	保管者数	事業場数	変圧器台数	ｺﾝﾃﾞﾝｻｰ台数	廃PCB		保管容器
豊田市	300	313	10台	6,606台	63本	267.9kg	389箱
愛知県	2,682	2,823	343台	13,998台	394本	29,129.1kg	533箱
名古屋市	1,742	1,840	450台	9,230台	556本	31,346.6kg	462箱
豊橋市	299	326	2台	1,199台	59本	356.3kg	53箱
岡崎市	208	232	28台	982台	15本	330.2kg	82箱
一宮市	172	192	0台	548台	5本	9.3kg	13箱
岐阜県	1,488	1,565	117台	5,198台	85本	145.5kg	233箱
岐阜市	342	373	47台	993台	64本	54.9kg	35箱
静岡県	1,992	2,083	104台	9,313台	268本	19,547.3kg	693箱
静岡市	581	630	48台	2,387台	91本	9,376.8kg	69箱
浜松市	557	592	956台	9,852台	119本	20,679.2kg	166箱
三重県	1,223	1,329	384台	13,357台	511本	98,617.4kg	475箱
合計：	11,586	12,298	2,489台	73,663台	2,230本	209,860.4kg	3,203箱
エリア間移動	276	300	4台	5,473台	84本	8.8kg	41箱
総計：	11,862	12,598	2,493台	79,136台	2,314本	209,869.2kg	3,244箱

（4）豊田PCB廃棄物処理事業のPCB廃棄物処理進捗状況

（グラフ－1）【変圧器類】受入ベース

（令和6年2月末現在）

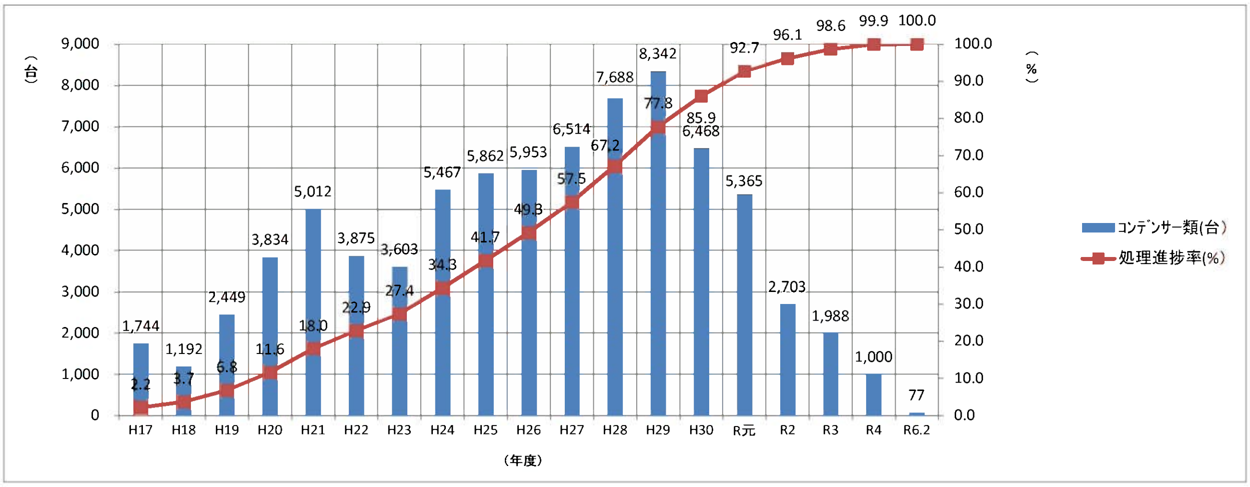


年度	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R6.2	合計
変圧器類(台)	67	71	195	295	294	184	139	236	191	156	106	93	93	114	144	83	24	7	1	2,493
処理進捗率(%)	2.7	5.5	13.4	25.2	37.0	44.4	49.9	59.4	67.1	73.3	77.6	81.3	85.0	89.6	95.4	98.7	99.7	100.0	100.0	

※登録量（分母）：令和5年度R6.2月末までのJESCO登録量＝2,493台（地域間移動の車載変圧器は除く。中国・四国の継続保管となった変圧器を含む。）
※実績量には、地域間移動の車載変圧器は除く。中国・四国の継続保管となった変圧器を含む。

（グラフ－2）【コンデンサー類】受入ベース

（令和6年2月末現在）



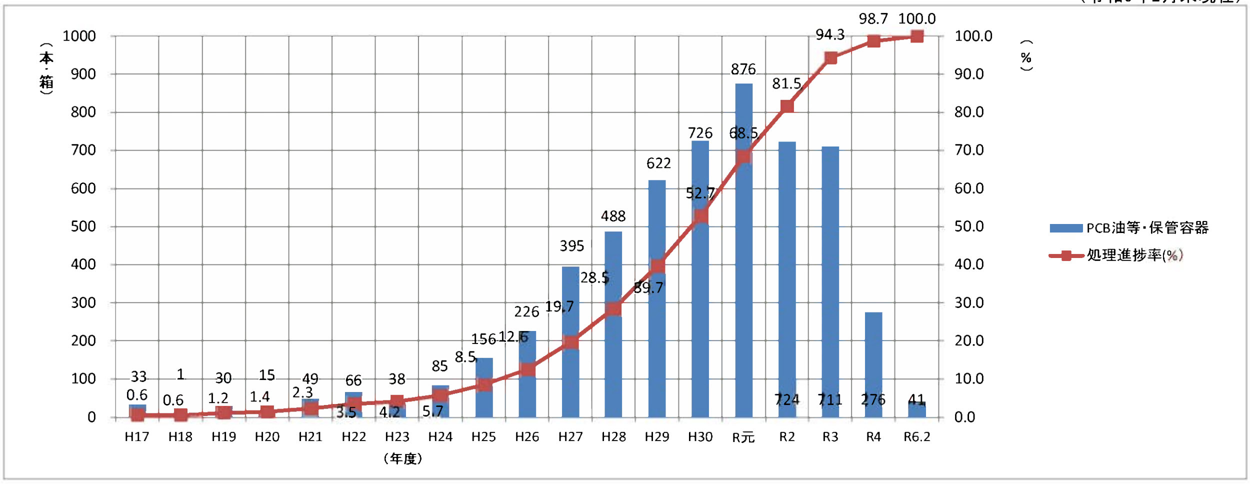
年度	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R6.2	合計
ｺﾝﾃﾞﾝｻｰ類(台)	1,744	1,192	2,449	3,834	5,012	3,875	3,603	5,467	5,862	5,953	6,514	7,688	8,342	6,468	5,365	2,703	1,988	1,000	77	79,136
処理進捗率(%)	2.2	3.7	6.8	11.6	18.0	22.9	27.4	34.3	41.7	49.3	57.5	67.2	77.8	85.9	92.7	96.1	98.6	99.9	100.0	

※登録量（分母）：令和5年度R6.2月末までのJESCO登録量＝79,136台（地域間移動の炭化コンデンサー、中国・四国の継続保管となったコンデンサ―を含む。）

※実績量には、地域間移動量の炭化コンデンサー、中国・四国の継続保管となったコンデンサ―を含む。
※大阪事業からのPPｺﾝﾃﾞﾝｻｰ、中国・四国の継続保管となったコンデンサ―を含む。

（グラフ－３）【PCB油等及び保管容器】受入ベース

（令和6年2月末現在）



年度	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R6.2	合計
PCB油等・保管容器	33	1	30	15	49	66	38	85	156	226	395	488	622	726	876	724	711	276	41	5,558
処理進捗率(%)	0.6	0.6	1.2	1.4	2.3	3.5	4.2	5.7	8.5	12.6	19.7	28.5	39.7	52.7	68.5	81.5	94.3	98.7	100.0	

※PCB油類には、保管容器を含む。
※登録量（分母）：令5年度R6.2月末までのJESCO登録量＝5,558本・箱（地域間移動の炭化コンデンサーの保管容器、中国・四国の継続保管となったPCB油類を含む。）
※実績量には、地域間移動量の炭化コンデンサーの保管容器、中国・四国の継続保管となったPCB油類を含む。

2 周辺環境への影響の状況

（表－5）排出源モニタリング　　　　　（操業開始から令和6年2月末現在）

要素	調査項目	これまでの最大値（カッコ内は測定年月）		令和5年 1月	4月	7月	10月	管理目標値等	単位
排気	PCB	1～4系	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.01	mg/m^3N
		5系	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満		
		6系	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満		
	ダイオキシン類	1～4系	0.026（平成18.10）	0.0000092	0.000023	0.000021	0.000010	0.1	$ng\text{-}TEQ/m^3N$
		5系	0.000062（令和5.1）	0.000062	0.0000031	0.0000022	0.0000026		
		6系	0.00089（令和2.10）	0.00000063	0.00000075	0.0000022	0.00013		
	ベンゼン	1～4系	2.2（平成22.10）	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	50	mg/m^3N
		3－2系	71（平成19.1）	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満		
排水（放流口）	PCB	0.0005未満		0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	mg/L
	ダイオキシン類	0.13（平成19.2）		0.0014	0.0014	0.0021	0.013	5	pg-TEQ/L
騒音	騒音レベル	昼間	69（平成19.1）	66	—	—	—	70	dB(A)
		夜間	68（平成19.1）	65	—	—	—	65	
振動	振動レベル	昼間	50（令和5.1）	50	—	—	—	65	dB
		夜間	50（平成31.1）	46	—	—	—	65	
悪臭	アセトアルデヒド	0.039（平成20.10）		—	—	—	0.004	0.05	ppm
	トルエン	0.9未満		—	—	—	0.9未満	10	ppm
	キシレン	0.1（平成18.9）		—	—	—	0.1未満	1	ppm

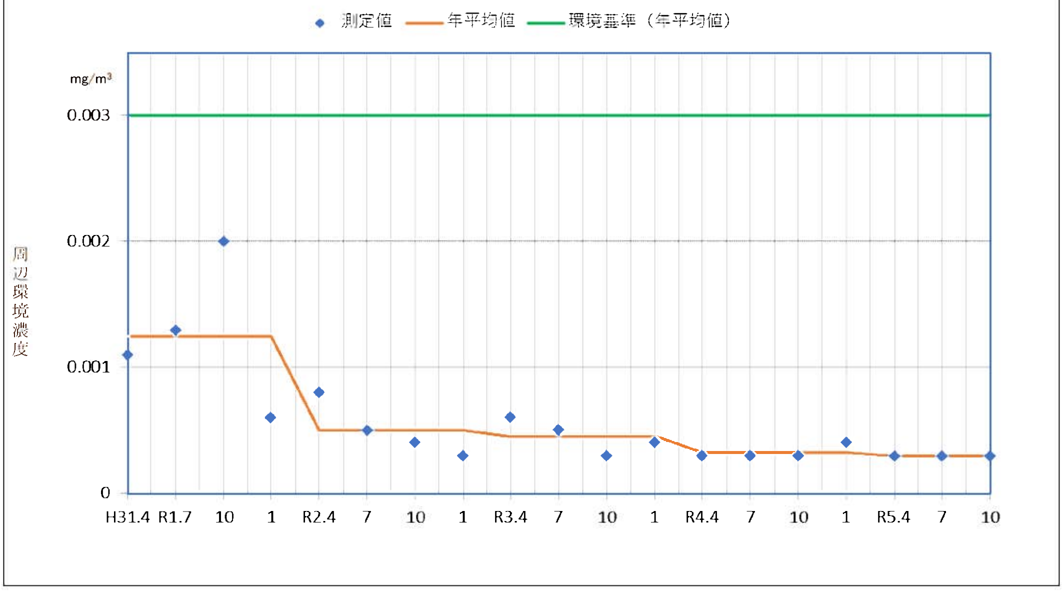
（表－6）周辺環境モニタリング　　　　　（操業開始から令和6年2月末現在）

要素	調査項目	これまでの最大値（カッコ内は測定年月）	令和5年 1月	4月	7月	10月	環境基準値等	単位
大気	PCB	0.0000088（令和3.7）[8800pg/m^3]	0.00000017 [170pg/m^3]	0.00000030 [300pg/m^3]	0.00000091 [910pg/m^3]	0.00000017 [170pg/m^3]	0.0005を超えないこと(注1)	mg/m^3
	ダイオキシン類	0.057（平成20.1）	0.016	0.011	0.011	0.008	年平均0.6（注2）	$pg\text{-}TEQ/m^3$
	ベンゼン	年平均0.0024（平成26年度）	0.0004	0.0003未満	0.0003未満	0.0003未満	年平均0.003（注2）	mg/m^3
土壌	PCB	0.0005未満	—	—	—	0.0005未満	検出されないこと(0.0005未満)	mg/L
	ダイオキシン類	4.0（令和2.10）	—	—	—	3.9	1000	pg-TEQ/g
地下水	PCB	0.0005未満	—	0.0005未満	—	0.0005未満	検出されないこと(0.0005未満)	mg/L
	ダイオキシン類	0.075（平成19.2）	—	0.065	—	0.067	1.0	pg-TEQ/L

（注1）評価基準値「PCB等を焼却処分する場合における排ガス中のPCBの暫定排出許容限界について」(昭和47年12月22日付　環境庁大気保全局長通達）で示される環境中のPCB濃度

（注2）ダイオキシン類及びベンゼンの大気環境基準は、豊田施設の存在する工業専用地域には適用されません。

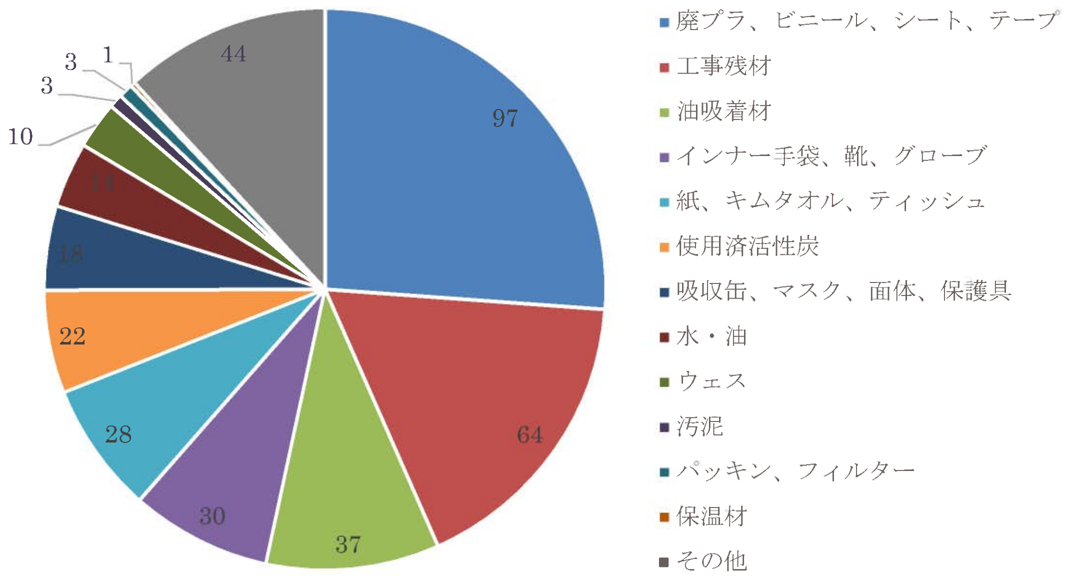
＜参考＞　（グラフ－4）周辺環境中のベンゼン濃度の推移



3 運転廃棄物の保管及び処理の状況

(グラフ−5)運転廃棄物入りドラム缶の保管状況 [合計 371 本]

(令和6年2月末現在)



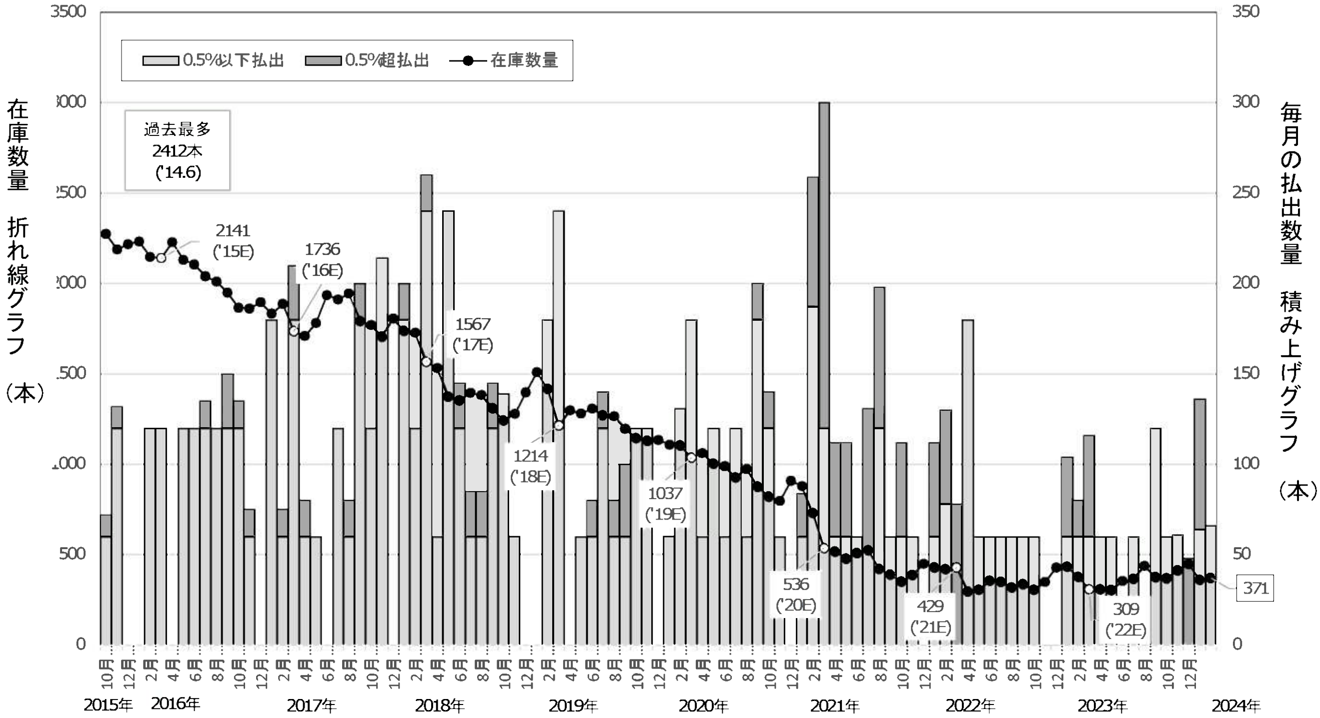
(表—7)運転廃棄物の所内処理及び外部処理の実績　　(令和6年2月末現在)

年度	事業所内処理			北九州事業所処理委託	外部処理 (ﾄﾞﾗﾑ缶数)	
	防護服	ﾎﾟﾘ袋	廃油	高濃度品(注 1)	実証試験	無害化認定業者処理委託(低濃度品(注 1))
平成 23 年度	14,400 着	640kg	2,643L	—	—	—
平成 24 年度	15,750 着	700kg	1,743L	—	108 本	—
平成 25 年度	18,000 着	549kg	373L	—	74 本 +約 204 本相当	306 本 +約 62 本相当
平成 26 年度	17,325 着	666kg	526L	—	—	550 本 +約 153 本相当
平成 27 年度	18,000 着	684kg	1,212L	24 本	—	521 本
平成 28 年度	15,000 着	540kg	584L	120 本	—	1,200 本
平成 29 年度	19,250 着	875kg	271L	100 本	—	1,354 本
平成 30 年度	12,850 着	711kg	777L	100 本	—	1,279 本
令和元年度	13,775 着	905kg	141L	100 本	—	971 本
令和 2 年度	8,700 着	665kg	0L	208 本	108 本	1,147 本
令和 3 年度	6,800 着	270kg	0L	468 本	—	671 本
令和 4 年度	4,875 着	270kg	0L	120 本	—	738 本
令和 5 年度	6,475 着	105kg	0L	120 本	—	546 本

(注 1)高濃度品:PCB 含有量　5,000mg/kg 超、低濃度品:PCB 含有量　5,000mg/kg 以下

（グラフ—６）

豊田事業所　運転廃棄物ドラム缶 在庫量推移　('15/9～'24/2)



4　収集運搬について

前回の安全監視委員会以降、令和６年２月末までに発生した収集運搬及び保管時に伴うトラブル事例は以下のとおりです。

（１）収集運搬機器からの漏洩について

前回の安全監視委員会以降に、豊田ＰＣＢ処理事業所に受け入れを行なった際に確認された漏洩事例（運搬容器内）は発生しておりません。

（２）保管中機器からの漏洩について

前回の安全監視委員会以降に、豊田ＰＣＢ処理事業所で搬入後、保管中に保管庫内にて漏洩が確認された事例は発生しておりません。

5　地域とのコミュニケーションについて

地域の皆様へは、ＪＥＳＣＯホームページを始め、事業だよりや施設見学等を通じて、積極的な情報公開に努めており、その実績は以下のとおりです。

（１）施設見学について

ア　見学の実績　　※令和５年度のみ令和６年２月末現在

	市民関係		行政関係		企業関係		合計	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
令和２年度	0	0	4	５３	3	4	7	５７
令和３年度	0	0	1	4	1	3	2	7
令和４年度	0	0	5	２０	4	8	9	２８
令和５年度	2	3	3	３１	1	3	6	３７

＊令和２年3月３日から７月 12 日まで、新型コロナウィルス感染防止のため見学者の受入れを中止していました。

＊令和２年７月 13 日以降受入れを再開しましたが、新型コロナウィルスの影響や事業の終盤を迎えたこともあり、見学者の人数は大きく減少したままの状況が続いています。

イ　見学に関するアンケートの集計結果

（令和２年４月から令和６年２月末まで、見学者１２９人）

質問１　説明は、わかりやすかったですか？　（回答９８人）		
①わかりやすかった	②普通	③わかりにくかった
９９%（９７人）	１%（１人）	０%（０人）
質問２　説明者の対応はいかがでしたか？　（回答９８人）		
①良い	②普通	③良くない
９８%（９６人）	２%（２人）	０%（０人）
質問３　本日の見学会は、参考になる内容でしたか？（回答９８人）		
①参考になる	②わからない	③参考にならない
１００%（９８人）	０%（０人）	０%（０人）

（２）関係自治区への情報提供

ア　年始の御挨拶

施設周辺と逢妻男川流域の 19 自治区を訪問し、年始の御挨拶と事業の進捗状況等を説明しました。

・令和 5 年 1 月 13 日から 19 日にかけて 19 自治区を訪問し、御挨拶と事業の進捗について報告しました。

・令和 6 年 1 月 10 日から 17 日にかけて 19 自治区を訪問し、御挨拶と事業終了に向けた報告及び解体撤去の計画等を説明しました。

イ　新任自治区長への御挨拶

区長が交代された自治区を訪問し、年度始めの御挨拶と事業の概要等を説明しました。

・令和 4 年度：事業所長が交代したため、5 月 19 日から 28 日にかけて 19 自治区を訪問し御挨拶しました。

・令和 5 年度：区長が交代された 4 自治区を 5 月 10 日に訪問し、御挨拶と事業概要を説明しました。

（３）ＪＥＳＣＯ地域協議会（平成２５年度設置）

事業所周辺の７自治区への情報発信と意見交換により、リスクコミュニケーションを推進することを目的に協議会を設置しています。

・構　　　成：樹木、三軒屋、広久手町、広久手、本地新田、深田山及び土橋自治区

・令和４年度：10 月 27 日に、操業状況等の説明と施設見学、意見交換を行いました。

・令和５年度：9 月 5 日に、操業や解体撤去の説明と施設見学、意見交換を行いました。

（４）豊田ＰＣＢ廃棄物処理事業だよりの発行（毎月１回）

・令和４年度：4 月の 216 号から 3 月の 227 号まで、毎月 1 回、計 12 回発行しました。

・令和５年度：4 月の 228 号から 3 月の 239 号まで、毎月 1 回、計 12 回発行しました。

6　トラブルの報告

前回の安全監視委員会から、令和６年２月末までに発生した労働災害及び漏洩等に伴うトラブルはありません。

（１）労働災害

平成 30 年 4 月 8 日に発生した、駐車場内での自転車の転倒災害を最後に休業災害は発生しておりません。

（２）漏洩等

令和４年７月２２日に発生した、グローブ弁からの漏洩トラブル以降、漏洩等は発生しておりません。